

# NEW YEAR CONCERT

## HAMAMATSU SILHARMONY ORCHESTRA

- P.I.チャイコフスキー  
幻想序曲「ロメオとジュリエット」  
P.I.チャイコフスキー  
ヴァイオリン協奏曲二長調 作品35  
I.ストラヴィンスキー  
組曲「火の鳥」(1919年版) 語り付  
J.シュトラウス  
ポルカ「鍛冶屋のポルカ」  
J.シュトラウスⅡ  
ワルツ「美しく青きドナウ」  
※曲目は変更する場合がございます。



ナレーター  
加藤 燿子



(C)Yuji Hori



ヴァイオリン  
渡辺 玲子

指揮  
ワシリー・ワリトフ

## PROGRAM

2018 1/20 **土**

開場 13:20 開演 14:00

アクトシティ浜松 大ホール



入場料: 指定席 SS10,000円 S 8,000円 A6,000円 自由席 4,000円 学生自由席 2,000円 (税込)

11月6日(月)よりチケット発売開始 アクトシティ友の会先行予約:11月5日(日)11:00~

未就学児はご遠慮ください。

お  
お  
問  
い  
合  
わ  
せ

浜松フィルハーモニー管弦楽団事務局  
TEL 053-458-6636

取  
チ  
ケ  
ッ  
ト  
所

アクトシティチケットセンター  
HCFオンラインショップ  
(株)ヤマハミュージックリテイリング 浜松店  
カワイ浜松  
グランシップチケットセンター

浜松唯一の  
プロオーケストラ  
「浜フィル」を  
育てよう!!

チケット販売「ハマチケ」がOPEN! チケットがWebサイト  
からもご購入できるようになりました。 座席指定もできます

[http://hamaticket.com/へ!](http://hamaticket.com/)



指揮者 ワシリー・ワリトフ  
Vasily Vafitov



チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院オーボエ科と、オペラ・シンフォニーオーケストラ指揮科を卒業。ファト・マンソロフ(ロシア功労芸術家)やジェームズ・ジャッド(英国)などの著名な指揮者の元で研鑽を積む。2008年から2010年まで国立アストラハン市オペラ・バレエ劇場の首席指揮者となる。同時に2001年よりロシア・ユース交響楽団の音楽監督兼首席指揮者を務める。2004年から今日に至るまで、文化社会プロジェクト『青少年・心の音楽』の音楽監督をつとめ、このプロジェクトの枠の中で300以上の公演が、モスクワ音楽院大ホール、チャイコフスキーホール、国際ドーム・ムジキ、クレムリン内、またはロシア正教会の総本山である救世主聖堂内のホールで毎年開催されている。海外でも高評を博し、フランスのボルドー交響楽団、ポドリアスク市オペラ・交響楽団を2007年に、そして2012年にはマドリッド交響楽団を指揮。また、フランスではロシア・ユース交響楽団が2006年、2008年、2012年に公演を行い大成功を収め、音楽祭でグランプリを獲得。CDも2枚リリースされている。2008年からはロシア交響楽団でも指揮棒を降り、常任招聘指揮者となり、2010年からモスクワ市にあるロシアの代表的なオペラ劇場のひとつであるニュー・オペラ劇場の常任指揮者となった。2015年からマラー交響楽団の客演指揮者を務める。モスクワ及び全ロシアの総主教アレクシーII世・モスクワ市長賞を受賞。文化社会プロジェクト『青少年・心の音楽』の青少年教育・道徳への貢献を評価ロシア連邦文化大臣ならびにモスクワ市からの感謝状を贈られる。2017年9月、V.ゲルギエフの招聘によりサンクトペテルブルク市のマリンスキー劇場でのデビュー公演が行われた。2016年よりF. マンローフ、Y. シモノフ、M. ゴーレンシュテイン、そしてV.スピワコフも指揮してきたCIS諸国ユース交響楽団の音楽監督ならびに主任指揮者に就任。ワシリー・ワリトフの指揮のもとCIS諸国ユース交響楽団は2016年にCDを2枚リリースし、モスクワ及びCIS諸国でコンサートを行う。2016年よりオーストリアとロシアとの共同プロジェクト『アカデミー・ウィーン=モスクワ』の音楽監督となる。オーストリア政府等後援の元、ブレゲンツ市(オーストリア)にオーストリア・ロシア夏季音楽学校を設立、音楽監督に就任。

渡辺玲子は、超絶的なテクニック、玲瓏で知的な音楽性、切れ味鋭い官能性とその広いレパートリーで日本のみならず世界のヴァイオリン界をリードする逸材である。第50回日本音楽コンクールにおいて最年少優勝(15歳)、同時に第1回増賞賞(全部門を合わせて最も優れたものに与えられる賞)を受賞、翌年の「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団とバルトークのヴァイオリン協奏曲第2番を共演、衝撃的なデビューを飾った。その後1984年ヴィオッティ、1986年にパガニーニ国際コンクールで最高位を受賞。1985年からは、ジュリアード音楽院に全額奨学生として留学し、1992年に学士と修士を取得。ニューヨークを本拠地として、世界各地でオーケストラとの共演、リサイタル、音楽祭への参加と国際舞台で目覚ましく活躍している。フランスのフィガロ紙は「彼女は全曲を通じ、文句のつけようのないほど見事であり、その光あふれる音色と、一種言葉にできないような魅力が全曲を通じ、疑いを差し挟む余地のない優美さに輝いていた」、ワシントン・ポスト紙は「身についた優美」、シラキユース(アメリカ)のヘラルド・ジャーナル紙は「マリア・カラスがもしもヴァイオリニストであったなら、彼女のように弾くだろう」と絶賛した。これまでに国内の主要オーケストラはもとより、ワシントン・ナショナル響、ロザンゼルス・フィル、セントルイス響、ヴァンクーヴァー響、フィルハーモニア管、BBC響、ウィーン・トーンキムストラ管、ロシア・ナショナル管、サンクトペテルブルク響、バンベルク響等と共演、また、日本フィルハーモニー管弦楽団のヨーロッパ・ツアー、東京交響楽団のアメリカ・ツアーにもソリストとして同行している。

ヴァイオリン 渡辺玲子  
Reiko Watanabe

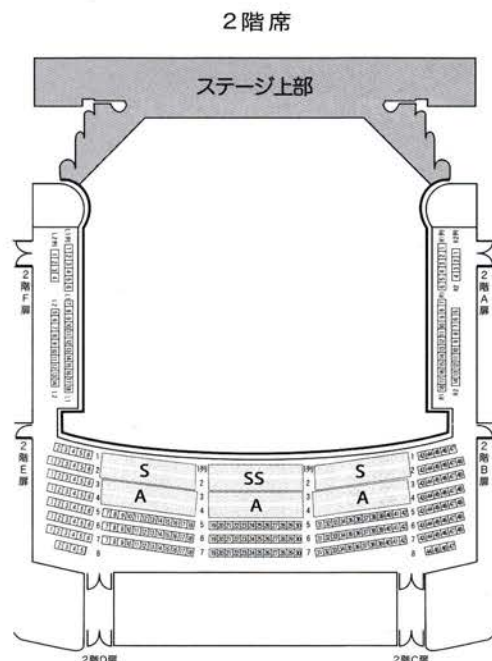
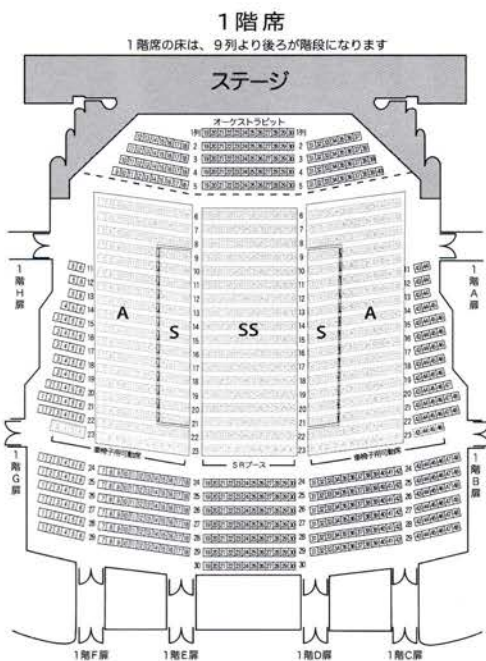


リサイタリストとしても意欲的に活動、ニューオータキム紙はその演奏を「圧倒的なテクニック、華麗な音色、劇的な音楽表現」と評し、見出しに「ヴァルトウオーゾの圧倒的迫りに脱帽」と掲げて絶賛した。このほか、ワシントンのケネディ・センターやラヴィニア音楽祭、イタリアのストレーサ音楽祭等に出演、2013年にはミラノとラヴェンナでG. アレヴィ作曲のヴァイオリン協奏曲を演奏し現地の聴衆に圧倒的な熱狂をもって迎えられた。アジアでも活躍の幅を広げており、香港フィルと中国ツアーのソリストを務めたほか、武漢交響楽団とも共演、台湾にも度々招かれている。また、欧米で高い評価を得ているダンス・カンパニー「Noism」とケネディ・センター等で度々共演するなどダンス、バレエとのコラボレーションも積極的に行う。演奏の素晴らしさに加えて、その時代を見通したユニークなプログラミングは、2011年から始まった「青少年のためのレクチャーコンサート」の全国展開、2015年に東京・白寿ホールで立ち上げた「大人のためのレクチャーコンサート」などでも注目を集めている。レコーディング・アーティストとしてのデビューは、ジュゼッペ・シーノリ指揮ドレスデン・シュターツカペレと共演したバルクのヴァイオリン協奏曲で、演奏会と同時にテルデック・レーベルによってCD録音が行われ、1997年にリリースされると同時に絶賛を博した。その他、これまでに「マイ・フェイヴァリッツ」、「パッサ無伴奏ソナタ&バルティータ」、「チャイコフスキー&ショスタコービッチ:ヴァイオリン協奏曲」、「カルメン・ファンタジー」、無伴奏作品集「SOLO」、そして2017年春には新しく「AIR&DANCE」をリリース、いずれも音楽誌等で高く評価されている。2004年からは演奏活動の傍ら教育にも携わり、秋田の国際教養大学特任教授として、音楽を専攻していない若者にも音楽の深さを知ってもらおうと英語での集中講義「音楽と演奏」を行っている。東京生まれ、松井宏中、鈴木共子、田中千香士、堀正文、大谷康子、海野義雄の各氏に師事、その後アメリカに渡り、J. フックス、J. ライタナー、F. ガリミア、S. ローズ、I. スターンの各氏に師事、他にN. ミルシテイン、J. キンゴールドのマスタークラスも受講している。2005年、第35回エクソン・モービル音楽奨励賞受賞。使用楽器は、日本音楽財団より貸与されている1736年製ガルネリ・デル・ジェス「ムント」。

ナレーション 加藤耀子  
Yoko Kato



コンサート企画構成者として「萬京石舞台コンサート」「ホテル川久クラシックコンサート」「帝国ホテルチャペルコンサート」「能楽玉手箱」ほか、多数の演奏会を手掛ける。文化庁主催「本物の舞台芸術体験事業」では大阪交響楽団とともに、『青少年のための管弦楽入門』『火の鳥』『ペール・ギュント』などの語りを担当する。このような物語音楽の語り手として、また現代音楽の初演企画をはじめ内外の優れた器楽奏者、声楽家、合唱団との共演も多い。浜フィルとの共演もこれまで多数。また、能楽や邦楽作品についての解説、自治体や各種団体に於いて自身のプログラム講演活動も行う。大阪芸術大学大学院博士課程修了。日本文芸学会、能楽学会、藝能史研究会各会員。アートライフ・カトー代表。元民間放送アナウンサー。著作:『ラプソディー・イン・グリーン』『能楽へのプレリュード』『道徳雑感』『物狂私考~松風に寄せる』『居籠祭について』『言葉変容』など。論文:『住吉明神と芸能』『道明寺天満宮所蔵「天神の縁起」の寄進者と寄進の背景』など。



指定席エリア(A・S・SS)以外は自由席です

チケット申込書

2018年1月20日(土)「2018 浜フィルニューイヤーコンサート」のチケットを下記の通り申込みます。

浜フィル会員  非会員

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

☎ ( ) \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

指定席 SS	10,000 円	枚
指定席 S	8,000 円	枚
指定席 A	6,000 円	枚
自由席	4,000 円	枚
学生自由席	2,000 円	枚
		計 枚

浜フィル会員の場合(一般料金の10%引き)  
 ■個人正会員 1口につき4枚まで  
 ■フレンズ会員 2枚まで  
 ■法人正会員 1口につき4枚まで

申込先

浜松フィルハーモニー管弦楽団協会事務局  
 〒432-8022 浜松市中区山手町3丁目9番1号  
 電話・FAX 053-458-6636  
 浜フィルホームページ <http://hamaphil.net/>

※本紙利用の場合は、FAX又は郵便でお申込みください。  
 お電話でも承ります。  
 ※お申込み受付後、チケットおよびお支払いについてご案内致します。

インターネットからのチケット購入は

イベントチケット情報ハマチケ <http://hamaticket.com/>